

議事録

日時：平成24年2月24日（金）14：00～17：30		会場：地盤工学会3階中会議室	
部長 村田 芳信	○	理事 荒瀬 義則	○
副会長 岸田 隆夫	○	部員 王 林	○
部員 竹山 智英	○	部員 中野 正樹	○
部員 秦 樹一郎	○	部員 楡井 一昭	○
部員 渡邊 康司	○	オブザーバー 李 圭太	×
オブザーバー 熊谷 隆宏	×	オブザーバー 原 忠	×
事務局 永田 満枝	○	事務局 廣松 さおり	○

報告・確認事項

事業部

1. 議事録者の指名……(別紙-1)  
\* 中野が指名された。
2. 前回議事録の確認：事業部会（12/20）……(別紙-2)  
\* 資料に基づき永田氏より報告があり、これを確認した。
3. 平成23年度事業部収支報告（24年1月末現在）……(別紙-3）（別添資料-1）  
\* 資料に基づき永田氏より報告があった。
4. 平成24年度第三次予算案について……（別添資料-2）  
\* 資料に基づき永田氏より報告があった。朱書きが修正部分。

出版企画委員会

1. 前回議事録の確認（2/3）……(別紙-4)  
\* 資料に基づき報告があり、これを確認した。
2. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別添資料-3)  
\* 資料に基づき永田氏より報告があり、図書出版作業進捗状況を確認した。  
\* 部長から、進捗状況を報告するのみで、事業部会では講習会企画の可能性を議論する場となるべきとの意見があった。
3. セット de お得等販売促進について……(別紙-5)  
\* 資料に基づき永田氏より実績報告があった。単発メール、HP のバナーを変更することにより、実績が上がったとのこと。年度末に向けて、同様の販売促進を行う予定である。  
\* 部長より、セット de お得を恒久企画としたことから、販売促進 WG（各部会でメンバーを構成している）の今後の役割を検討する必要があるとの意見があった。

技術普及委員会

1. 前回議事録（議題書）の確認（2/13）……(別紙-6)  
\* 議事録を確認した。
2. オンデマンド講習会WG報告……(別紙-7)  
\* 資料に基づき渡辺氏より報告があった。関連する議題は審議事項で審議した。

## 審議事項

### 出版企画委員会

1. 既刊本増刷について……(別紙-8)
  - \* 入門シリーズ34：地下水を知る：荒瀬理事より、300部増刷の提案があり、これを承認した。部長より、出版企画委員会の審議事項としていいのではとの意見があった。
2. 新既刊本（シールド工法・土の締固め）の初版印刷部数について……(別紙-9)
  - \* シールド工法：荒瀬理事より、メール審議を踏まえ、800部、税込み定価4725円が提案され、これを承認した。
  - \* 土の締固め：荒瀬理事より、編集委員長の意向、メール審議を踏まえ、900部、税込み定価3150円が提案され、これを承認した。
3. 新刊本企画について……(別紙-10)
  - \* 役立つ地盤リスクの知識とその対応について、荒瀬理事より、関東支部からの提案であること、学会誌の講座にも掲載されていること、一般の方も対象にして作り直すことなどの説明があった、出版趣意書（案）が提案され、これを承認し、新刊本として採用することとした。
4. 編集委員会委員について……(別紙-11)
  - \* 荒瀬理事より、地盤改良の調査・設計から施工まで（仮称）の名簿案が紹介され、これを承認した。

### 技術普及委員会

1. 平成23年度講習会開催計画……(別紙-12) (別添資料-4)
  - \* 資料に基づき廣松氏より報告があった。
  - \* 学会主催の講習会で、学会出版以外の出版物をテキストとすることやその販売、広告は認めないことを確認した。
  - \* 一人の講師による講習会は、聴衆へのわかりやすさもあり、問題ないと判断した。
2. オンデマンド講習会事業の共同推進契約解除……(別紙-13)
  - \* 渡辺委員より資料に基づいて報告があり、現在契約している会社との共同推進契約解除を承認した。理事会には3年間の実績を参考資料として示し、本承認事項を提案することとした。
  - \* オンデマンド講習会については契約解除後も1年間は配信することを確認した。
  - \* オンデマンド講習会を継続させるよう要望意見があり、現在、配信方法を含め検討しているとの報告があった。
  - \* オンデマンド講習会を受講した非会員に対し、JCMはCPDを与えないとの報告があり、今後検討してゆくこととなった。
  - \* 解除後、内規の見直しをすることを確認した。
3. 技術士受験のポイント講習会テキスト関西支部の利用について……(別紙-14)
  - \* 関西支部より、本部で行った講習会のテキストの流用できないかとの要望があった。支部主催と本部主催の会費の違いや、テキストの著作権等もあり、流用は認めないこととした。
  - \* 今後、本部主催講習会のテキストの支部主催講習会への流用は、同様に認めないこととした。
  - \* 参加希望の多い本部主催講習会の支部展開について、今後検討が必要であるとの意見があった。

### 事業部

1. 「事業企画賞」（第14回）について……(別紙-15)
  - \* 竹山委員より資料に基づき説明があった。表彰規程に基づき、平均点の小数点第1位を四捨五入、4点以上を候補とし、本部および支部の上位2件を推薦することとした。
2. 事業部関係の規則・細則について……(別紙-16)
  - \* 別紙16の27p：部長より、D講習会について、オンデマンド講習会事業の共同推進契約解除により、内規の変更が必要となったことの報告があった。また別紙16の31pについても、内規の見直しが必要との意見があった。
  - \* 部長より、本部と支部の講習会事業や出版事業のすみわけを明確にしてゆく必要があり、そのため内規の内容を修正すべきであること、内規変更により、各事業が独立して活動できるとの意見があった。各委員会で関連する内規を確認、修正して頂くこととなった。
3. 今後の事業部のあり方について

- \* 岸田副会長より部の再編の情報：事業部会の今後の再編については、総務部では正式に話し合われていない。事務局を公1から公5まで編成したから、部会もそうなるべきであるが、時期の話はしていない。各サービスが滞らないようにすべきであり、事業部会は公1と公3にまたがる運営をしてゆくことになるとの報告があった。なお次年度の総会で、事務再編に対する新たな方針が出ると思われるが、現事業部においての、将来の事業部が動あるべきかの意見を示すべきとのこと。

#### 4. その他

- \* 次回の予定は、4月の下旬で、メールで日程調整を行う。
- \* メンバーについては、任期満了の委員、オブザーバーは、次年度は退任とする。